



空き家が出た不用品の橋渡し

山内リサイクルマーケット・7/15-18

No.5

山内地域で移住・定住支援のため空き家の片付け活動を行っている「てごおし隊」が、山内自治振興センターで第2回リサイクルマーケットを開催しました。

このリサイクルマーケットは、空き家の利活用を進めるため、片付けで出た不用品を「ゆずったり」「ゆずられたり」の橋渡しを行うことを目的に開催しています。不用品の中には、懐かしい農具や民具などもあり、来場者は昔話を花を咲かせていました。

また、山内小学校の児童が育てた花の苗も配布され、受け取った人は「自宅で大事に育てます」と喜んでいました。リサイクルマーケットの売り上げは、地域内の小学校や保育所に寄付されました。



▲リサイクルマーケットの様子

地域で交流を楽しむ

口和地域でグラウンドゴルフ大会・8/3・8/5

No.7

口和自治振興区主催のグラウンドゴルフ大会が、口和総合運動公園で開催されました。

この大会は、地域間の交流を深め、健康づくりを推進することを目的に、シニアの部と女性の部に分けて開催されました。

参加者は、地域ごとにチームを編成し、シニアの部15チーム、女性の部11チーム、合わせて約150人が参加しました。

当日は、16ホールをプレーし、交流を楽しみながらハイレベルな勝負を繰り広げました。

参加者は「新型コロナウイルスの影響で運動が難しい中、参加できて良かったです」と話しました。



▲グラウンドゴルフを楽しむ参加者

総領小児童が町探検

市役所の仕事を体験・7/19

No.4

総領小学校2年生8人が、生活科の学習「町たんけん」で、市役所総領支所を訪問しました。

「町たんけん」は、総領町の人々や公共施設などに関心を持ち、進んで調べたり、関わったりすることを目的に、町内のいろいろな職場を訪問しています。

児童は、市役所の仕事の説明を受けた後、支所内を見学しました。また、住民告知放送の体験を行い、「今頑張っていること」を紹介する内容を録音しました。音声は、後日小学校の校内放送で流しました。

参加した児童は「支所の中に、たくさんの部屋があったのでびっくりした。放送の録音はドキドキしたけれど、楽しかった」と話しました。



▲録音を体験する児童

地元のスポットに歓声に戻る

河童公園が復旧

No.6

高野町南の「河童公園」で、地元住民と公園の草刈り・清掃業務を受託している(株)緑の村により災害復旧活動が行われました。

河童公園は、7月12日の大雨の影響により、河川が増水し、流木や土砂が公園内に流れ込んだことで、使用ができなくなっていました。

そこで、地域住民と(株)緑の村は、「子どもたちに水遊びをさせてあげたい」との思いから、流木や土砂の撤去作業を行いました。強い日差しで暑い中の作業でしたが、大雨発生の1週間後には、子どもが安全に遊べる環境まで復旧しました。

小学校が夏休みに入ると、公園では家族連れが水遊びを楽しみ、青い空に歓声が響いていました。



▲復旧後の河童公園

社会を明るくするために

内閣総理大臣メッセージ伝達式・7/29

No.1

「社会を明るくする運動」庄原市推進大会の大会委員長である木山耕三市長に、内閣総理大臣による同運動の推進メッセージが山田浩司広島保護観察所長から伝達されました。

「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

例年、同運動の推進大会が開催されていましたが、昨年度に続き本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったことから、庄原市保護司会と庄原市更生保護女性会の立ち合いのもと、今回の伝達式が行われました。

推進メッセージには、「地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、犯罪や非行の防止と更生支援の取り組みをさらに充実させていく必要があります。さまざまな分野から、若い世代を含め多くの方が本運動にご参加いただきますようご協力をお願いします」とありました。

▶木山市長（前列中央）と山田所長（前列左）、広島保護観察所 今村保護観察官（後列中央）、庄原地区保護司会・庄原地区更生保護女性会の皆さん



▲内閣総理大臣メッセージ伝達の様子



みんなで収穫を楽しむ

トウモロコシ収穫体験・8/2

No.3

食育の一環としてトウモロコシの収穫が西城町油木で行われ、西城小学校の3年生19人が参加しました。今回収穫したトウモロコシは、5月に児童が種を植え、地域の人と協力して育てたものです。

児童は、前油木営農組合長の高原芳典さんから、トウモロコシの生育状況や収穫方法について教わった後、厳しい暑さに負けず、大きく成長したトウモロコシを収穫していきました。収穫した後のトウモロコシは、みずみずしく甘いのが特徴で、児童はその場で皮をむき、豪快にかぶりついていました。

児童は「みんなで育てたトウモロコシは、いつもよりおいしく感じた」と話しました。



▲トウモロコシを収穫する様子

捕まえた昆虫を標本に

比和自然科学博物館公開講座・8/2

No.2

比和自然科学博物館で公開講座「昆虫採集・標本づくり教室」が行われ、市内の小学生など45人が参加しました。

参加者は、午前中に昆虫の採集方法について、同博物館のインストラクターから説明を受けた後、博物館周辺の畑や野原で採集を行い、楽しそうにバッタなどの昆虫を捕まえていました。

午後からは、標本の作り方を教わり、捕まえた昆虫の標本づくりを行いました。参加者は、小さい昆虫の足などを傷つけないように真剣な表情で作業を行っていました。

参加した児童は「難しかったけど楽しかった。夏休みの自由研究にも活用したい」と話しました。



▲標本づくりを行う児童